巴里講和會議ニ於ケル經濟事項ニ對スル帝國ノ方針

大正八年三月六日閣議決定

大正八年二月十四日外務省著電在巴里講和委員ヨリノ電報ニ依レハ講和會議經濟特別委員會ニ於テハ同委員會所管事項ニ關スル條約案要項ヲ決定シタル由ニテ右要項ニ關シ帝國委員ニ於テ心得置クヘキコト請訓アリタルトコロ右要項ハ(一)過渡的措置ニ關スルモノ(二)永久的措置ニ關スルモノ(三)諸契約及權利ノ解除廢棄ニ關スル措置(四)敵國人タリシモノニ對スル措置(五)經濟ニ關スル諸條約ノ廢棄又ハ回復ニ對スル措置ノ五項ニ分レ各項ニ渉リ諸般原則的國際規定ヲ設ケントスルニ有之候ニ付別紙諸項ノ趣旨ニ基キ回訓スルコトトシ又本件ニ關聯シ何等カノ形式ニテ一般外國人ノ居住權、各種營業權、土地所有權、鑛山權等ニ關スル待遇ヲ現在ヨリモ緩和スル趣旨ノ取極成立シ得ヘキ形勢ナルニ於テハ帝國ニ於テモ相互的ニ外國人ニ對スル是等諸項ニ對シ現行法以上ニ寛大ナル取扱ヲナスコトニ改メ差支ナキ

0000 0398
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

態度ヲ取ルヘキ旨併セテ電訓シ置キ度シ

0000 0399
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第一、過渡的措置ニ關スルモノ

一、現實ニ戰禍ヲ蒙レル聯合國一地方ノ囘復ニ必要ナル資料ノ供給ニ關シ優先的待遇ヲ付與スルハ至當ナリト認ムルコト

二、戰爭ノ爲最痛苦ヲ受ケタル國ノ經濟囘復ニ對シ相當援助ヲ行フハ主義ニ於テ可ナリト認ムルコト

三、巴里經濟會議決議天然資源ノ交換ニ關スル聯合國間共助ノ主義ハ之ヲ確保スルト共ニ右主義ハ機械等ノ製産資料ニモ及ホスヘキコト尤右主義ノ實行ハ中立國ニ對シ聯合國ノ需要ニ支障ヲ來ササル限度ニ於テ供給ヲ爲スヲ妨クルモノニ非ルコト

四、前記各項ノ實行ニ當リテハ聯合國一般ニ對シ公平ナル方法ヲ採ルヘキコトヲ期セシメ日本ノ如キ特殊ノ情形ノ下ニ在ル國ニ取リ不利ナル結果ヲ來サシメサル樣注意スヘキコト

五、舊敵國ニ對スル物資供給ノ方針ハ大体聯合與國ノ態度ニ順應シ差支ナシ但シ過渡期ニ於ケル物資供給其ノ他ノ取引ヲ認容スルコト

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp
0000 0400

トナル場合ニ於テハ敵國ノ市場カ他國ノ爲ニ專占セラレ將來ニ亘リ我通商上ノ不利益ヲ招クカ如キコトナキ樣注意ヲ加フヘキコト

六 聯合與國間ニ於テ前記第一項及第二項ヲ目的トスル場合ノ外輸出制限ヲ行ハサルヘク又前記目的ヲ以テスル輸出制限ト雖其ノ範圍期限ハ出來得ル丈ケ之ヲ局限スルコト

七 聯合與國內ニハ新ナル輸入制限ヲ行ハサルヘク又現行輸入制限ハ少クトモ聯合與國生産物ニ對シ成ルヘク速カニ解除スルコト

八 締盟國ニ於テ戰時措置トシテ實行シ居ル原料品ニ對スル國家管理ハ回復ノ爲必要ナキ限リ成ルヘク速ニ解除スルコト

第二 永久的措置ニ關スルモノ

一 締盟國ハ原料品ニ對シ輸出税ヲ課セサルノ主義ヲ承認スルコト從テ原料品ニ對シ新ニ輸出税ヲ設ケ又ハ現在以上ニ增加スルヲ得サルコト

二 公安、衛生、國家專賣品、「ダンピング」其ノ他右ニ類似スル場

合ヲ除クノ外締盟國製產品（原料品ヲ含ム）ニ對シ何等輸出入ノ制限若ハ禁止ヲ爲ササルコト並右制限禁止ヲ行フ場合ニモ其ノ實行ハ締盟國一般ニ對シ均等公平ニ行ハサルヘカラサルコト

三　一國領土又ハ領水ヲ通過シ第三國ニ輸送セラルル貨物ニ對シテハ何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス一切ノ課税、制限、禁止ヲ行ハサルヘキコト

四　締盟國一般ノ同意アル場合ニハ僞標記ノ禁止及原產地表記ニ關スル國際協定ニハ之ニ加入スルモ差支ナキコト但シ右樣ノ場合ニハ現行商慣習ヲ尊重スル趣旨ノ規定ヲ設ケシムヘク又實施前一定ノ期限ヲ設クヘキコト

五　一國開港間ノ沿岸貿易及公海ヲ以テ隔ツル一國領土間（自治植民地ヲ含ム）ニ於ケル人及貨物ノ運送ハ之ヲ相互的基礎ノ下ニ締盟國船舶ニ開放シ且之ニ對シ內國船舶ト同一ノ取扱ヲ與フヘキコト

六　通商ニ關スル一切ノ事項殊ニ輸入税其ノ他諸課税ノ賦課ニ關シテ

ハ締盟國ハ其ノ領土（自治植民地ヲ含ム）ノ何レニ於テモ他ノ締盟國ノ通商ニ關スル一切ノ取扱ニ比シ何等不公平ナル區別的待遇ヲ受ケサルヘキコト

七 當該本國ト異ナル關税制度ヲ有スル締盟國領土ノ一部（自治植民地ヲ含ム）ニ於テ本國トノ間ニ特恵關係ヲ設定スル場合ニハ他ノ締盟國トノ通商航海ニ對シ惡影響ヲ及ホササル樣注意スルヲ要スルコト

第三 諸契約及權利ノ解除廢棄ニ關スル措置

本件ニ關シテハ大体聯合與國ノ態度ニ順應シ差支ナキモ

(一)工業所有權戰時法ニ依リ敵國人ノ工業所有權ニ關シ為シタル取扱又ハ處分及其ノ處分ノ結果發生シタル專用權卽敵國人ノ特許權ヲ實施シ得ル權利ハ戰後ニ渉ルモ其ノ免許期間中ハ全部有效ニ存續シ此等ニ對シテハ取消、無效、賠償其ノ他何等ノ問題ヲ生セシメス又戰時中敵國人ノ工業所有權ヲ害スヘキ行爲ヲ為シタルモノア

リトスルモ我大審院ニ於テ敵國人ハ訴權ヲ行使シ得ストノ判決モアリ等シク要償侵害等ノ問題ヲ生セシメス其ノ他工業所有權ニ關シテハ巴里經濟會議專門委員會決議 Propositions adoptées ノ趣旨ニ準據スルコト但シ之カ實行ニハ法律ノ制定ヲ要シ從テ議會ノ協贊ヲ要スルハ勿論多少ノ例外ヲ設クルコトアルヘク又工業所有權法規統一ニ關スル點ハ篤ト調査ヲ要スル問題ナルコト

(二)戰前敵國人トノ契約ニ依リ其ノ所有スル工業所有權ノ實施權ヲ得タル者ハ戰時中ノ實施料ハ勿論之ヲ支拂フヲ要セサルコトトナスコト

(三)對敵取引禁止及對敵通信禁止ニ基ク損害ハ一切之ヲ賠償セサルコト

第四 敵國人タリシモノニ對スル措置

本件ハ帝國ニ於テ比較的利害僅少ナルヲ以テ大勢ニ順應シ支障ナキモ戰時勃興シタル產業保護ノ爲ニハ舊敵國人ノ企業ニ對シ或ル種ノ

制限又ハ禁止ヲ實行シ得ル樣ナスヘキコト

第五 經濟ニ關スル諸條約ノ廢棄又ハ回復ニ對スル措置

一、敵國トノ通商條約ハ戰爭ニ依リ廢棄セラレタリトノ主義ヲ採ルコト

二、工業所有權等ニ關スル萬國條約ニ就テハ聯合與國ト協調ノ態度ニ出テ差支ナキコト

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp
0000 0405